

“特等席”で野球の面白さ再発見

新戦力大募集

審判／公式記録／アナウンス

担当者の声

審判 小島 健
20歳 / 専門学校生

目標は全国の舞台

札幌北陵高で選手を終え、顧問の先生の紹介で審判を始めました。難しいプレーを判定した時や試合が終了した時の高揚感はひとしおです。目標は1級資格取得と全国の大舞台。年齢や職業の違う仲間と切磋琢磨し、審判として「野球人」の第2章を共に始めませんか。

公式記録 林 知美
38歳 / 自営業

野球の奥深さ体感

札幌学院大で主務や学連運営委員長を務め、恩師や先輩の紹介でこの道へ。卒業後も野球に関わりたいたい思いが、今に繋がっています。昨年は全国大会に派遣され、新たな出会いや刺激がありました。野球の奥深さに触れる楽しさを一人でも多くの方に知ってほしいです。

アナウンス 梅村 咲輝
34歳 / 会社員

好きを生かせる場

札幌学院大でマネージャーを務め、先輩の紹介で始めました。アナウンスで試合を彩り、スムーズな進行を後押しするやりがいはい大きいです。自分の「好き」を卒業後も活かせる場が、ここにあります。観客の記憶に残るアナウンスを、私たちと一緒に目指しましょう。

社会人野球の魅力

- アマ最高峰の技術と迫力
プロ注目の逸材や元プロがしのぎを削る真剣勝負
- 一球に懸ける「大人の本気」
負けたら終わりの舞台で见せる凄まじい執念のプレー
- 大声援の中で戦う高揚感
職場や地域の期待を背にスタンドと一丸で戦う熱狂

白球を追った情熱は、引退や卒業で消えるものではない。北海道の社会人野球界では、幅広い世代が「支える立場」として活躍中。その扉は、野球を愛する全ての人の開かれている。



未経験者もOK
野球の面白さは、プレーの外側にもある。試合を司り、プレーを記録し、声で円滑な進行をサポートする。社会人野球には、そんな「試合を支えるスペシャリスト」として輝ける道がある。日本野球連盟北海道地区連盟は今、次代を担う人材を募集している。学生も社会人も、大きな舞台へ挑戦できる絶好の機会だ。

現場では、多様な経験を持つ人々が生き生きと活躍している。審判では、若手審判員が大舞台でのジャッジを目指す一方、経験豊富なベテランが後進を導く。公式記録では、高校時代にマネージャーを務めた大学1年生がいち早くデビュー。幅広い年齢層の記録員も日々学びを

- ＜募集要項＞
- 年齢、性別、経験問わず
未経験も親切丁寧に指導します
 - 公式戦は年間約100試合
活動できる日だけ参加可能です
 - 謝礼・交通費の支給あり
詳細はお問い合わせください

日本野球連盟北海道地区連盟

☎011-281-1189 ✉mail@jaba-hokkaido.ne.jp

体験・見学のみも大歓迎。お気軽にお問い合わせください

